

いいだ

市議会だより



No. 207

平成30.1.23

編集/広報広聴委員会 発行/飯田市議会 〒395-8501 長野県飯田市大久保町2534



第4回定例会のあらし
議会報告会
ズバリ市政を問う
(代表質問・一般質問)

2

3

4 5

ELCO

燃る!飯田健児 新着!フイフテン

長野県飯田高等学校



ラグビーの聖地「花園」で活躍した飯田高等学校のラグビー班
～第97回全国高校ラグビー大会へ出場(6年ぶり8回目)～

第4回定例会

飯田市一般会計補正予算(第6号)案など29議案を

可決、同意、認定

定例会のあらまし

第4回定例会を、11月28日から12月19日まで22日間の会期で開催しました。

市長から平成29年度飯田市一般会計補正予算(第6号)案など、29件の議案が上程されました。このうち、報告案件が3件、人事案件1件は、本会議で同意しました。そのほかの25件は、所管の委員会での慎重な審査の後、本会議でいずれも原案のとおり可決しました。

市長提出議案のほかには、意見書提出に係る議会議案1件を上程し、可決しました。

また、請願3件、陳情3件の審議を行い、委員会審査のとおり、陳情1件を採択、請願1件・陳情1件を趣旨採択、請願2件・陳情1件を不採択としました。

代表質問、一般質問では、14人の議員が市政全般について質問を行いました。これについては、4ページから紹介します。

議案に対する質疑と審査

報告案件、人事案件以外の市長提出議案は、総務、社会文教、産業建設の各常任委員会に付託され、集中的に審査しました。

質疑等の内容は、6ページから各常任委員会のページで紹介します。

本会議での討論・反対の意思表示

社会文教委員会における請願の審査結果に対し、本会議で反対の立場から討論等がありましたので紹介します。なお、請願の詳細は、社会文教委員会のページをご覧ください。

請願第6号 「国及び県に対し、介護の人材確保・離職防止を求める意見書を提出願いたい」

反対の討論(不採択としたこと)に反対

飯田市内でも介護職員の確保に苦慮し、経営が悪化する事業所もでてきている。介護職員の処遇改善として、今年度から始まった新加算制度により給与の月額をアップしている事業所もあるが、市内の25事業所ではキャリアパスのハードルを越えられずに、対応ができていない。また、新加算制度では、介護職員以外の看護師や調理員、事務職などは対象外であり、これらの皆さんの処遇を改善するには介護報酬の引き上げが必要であると考えます。よって請願の不採択には反対。



請願第7号 「国に対し、給付型奨学金制度の拡充を求める意見書を提出願いたい」

反対の意思表示(趣旨採択としたこと)に反対

請願第8号 「市に対し、給付型奨学金制度の創設を求める」

反対の意思表示(不採択としたこと)に反対

議会議案の提出

議会議案第10号 「受動喫煙防止対策を進めるために健康増進法の改正を求める意見書の提出について」

社会文教委員会で審査し、採択した陳情第3号に基づき、社会文教委員会から提出されました。全会一致で議決し、国会及び関係行政庁に意見書を提出しました。

意見書の概要 受動喫煙を防止するには、たばこの煙による健康被害を国民に啓発していくことが重要である。罰則つき規制を定める健康増進法の早急な改正を国に求める。

同意した人事(敬称略)

○固定資産評価審査委員会委員

長沼 弘明

議会報告会に 582人のご参加 ありがとうございます。

10月4日から10月12日まで、竜東ブロックを皮切りに、市内6カ所で開催した議会報告会には、これまでで最多の合計582人にご参加いただきました。貴重なご意見、ご要望をお寄せいただき、ありがとうございます。

※ブロック別の参加者は次のとおりでした。

ブロック名	竜東	北部	西部	遠山	飯田5地区	中部	合計
開催日	10月4日	10月5日	10月6日	10月10日	10月11日	10月12日	6日間
参加人数	93人	129人	64人	70人	107人	119人	582人

前回の議会だよりに引き続き、西部、遠山、飯田5地区、中部ブロックの様子を紹介します。

—— 議会報告会を起点とした政策づくり ——



①西部ブロック全体会（三穂、山本、伊賀良） ②遠山ブロック第1分科会・総務委員会（上村、南信濃） ③中部ブロック第2分科会・社会文教委員会（松尾、竜丘、川路、鼎） ④飯田5地区ブロック第3分科会・産業建設委員会

○報告会で市民の皆さんから寄せられたご意見・ご要望は455件に整理し、内容に応じて次のとおり議会の委員会に振り分けました。

総務委員会	社会文教委員会	産業建設委員会	リニア推進特別委員会	広報広聴委員会
125	84	117	4	125

振り分けたご意見等を各委員会において、①市の執行機関に申し送りをする事項、②議会で扱う事項に分け、対応を検討します。さらに、議会内でまとめを行い、委員会が抽出した課題等については、調査研究を進めます。

ズバリ 市政を問う!

代表質問

代表質問とは、各会派を代表して一人が市政全般について質問するものです。会派の意見を次年度の予算に反映させやすいよう飯田市議会では12月(第4回定例会)に行っています。代表質問の概要を紹介します。(質問順)

会派のぞみ

湯澤 啓次 議員

Q 10年後のリニア時代を見据え、人口減少・高齢化が顕在化する困難な時代に、市長は何を大切にして市政経営を進めるか。

A 大きな課題が地域に突きつけられる一方で、高速交通網時代を見据えた地域づくりが必要な状況になっている。環境の変化が激しく、国も地方も財政難の今日、次世代へと引き継ぐ持続可能な地域づくり、人づくり、産業づくりに取り組みには、多様な主体による協働が非常に重要と考える。

Q リニア中央新幹線に関する諸課題に迅速かつ有効に対応するための態勢拡充は。

A 組織体制については、人員、庁内各部署の連携、専門業者への委託なども含めて現在検討している。また、現地事務所における情報発信や対応については、必要な点は改善し、事業の進捗や段階に応じた体制を検討する。さらに、今後本格的になる個別交渉などは、担当を明確化して対応することが望ましいと考えている。

■持続可能な地域自治 ■交流・定住人口の拡大 ■産業振興 ■子育て環境、健康長寿日本一 ■学校教育、社会教育 ■安心安全で環境に配慮した社会について

会派みらい

福沢 清 議員

Q 「公共施設等総合管理計画」の推進には施設全体の縮減目標値が必要ではないか。

A 施設全体数から何%削減するといった目標数値を掲げて取り組む自治体もあるが、当市では市民の皆さんと行政が協働した検討の機会を設けて方向づけしていくところに特徴と実効性がある。まずは第一段階として、優先検討施設を設けて協議していく。その後は、各段階での状況を見ながら実効性のある取り組みを考えていく。

Q 教職員の負担軽減策として、学校給食費を市で徴収したらどうか。

A 学校給食費は、児童手当からの徴収や、教育委員会と学校の連携により、未納のない状態が続いている。口座振替ができなかった場合の対応が教職員の負担になっていることは理解しているが、日頃、保護者と連絡をとっている学校での徴収により、高い収納率を確保していると考えられる。また、この4月から経済的に困難な家庭には就学援助による給食費の全額補助を導入したので、まずは様子を見たい。

■リニア中央新幹線整備事業 ■産業振興政策 ■福祉政策 ■まちづくりの推進 ■防災について ■広域連合との在り方について

公明党

村松 まり子 議員

Q SDGs (持続可能な開発目標) の理念を市政運営の根底に据え、地方自治体としての責任を果たすべきでは。

A 持続可能な開発目標を持ち、多様性とすべての人を取り込み、支え合うといった考えのもとに社会を実現していくことは重要である。こうした考え方を踏まえて市政経営に取り組んでいく。

Q 農業振興センターを核として、農地を維持し産業経済として成り立つ姿からバックキャストイングした農業のあるべき姿を農業振興ビジョンにどう描くか。

A 農家が生産活動を継続していくための「地域経済を支える農業」、農業をベースにした活動で地域活性化を図るための「農業を活かした地域づくり」を農業振興の方向性として考えている。具体的な取り組みについては、またその事業を推進するための多様な主体との協働体制について、農業振興ビジョンに盛り込んでいく。

■リニア中央新幹線について ■「社会的包容力」の構築について ■教育環境の整備について ■ワーク・ライフ・バランスの推進について

市民パワー

木下 容子 議員

Q リニア中央新幹線開通を見据え、知事から駅周辺にヘリポート設置に対する問いかけがあったと聞くが、市の考えは。

A ヘリポートの設置は知事からの問いかけのほか、経済界からも意向が示されている。設置には法的な制約があり、駅周辺の住宅地への設置は厳しいが、場所を含めて検討の余地はある。観光目的を考えた場合、運営主体は民間となるが、その意向をも含めて設置場所を考える必要がある。

Q 戦争の歴史や事実を次世代に継承していくために、平和教育の必要性をどう考えるか。

A 戦争を知らない世代が多くなってきている中、平和学習は戦争の悲惨さを知り、平和の尊さを考え、それを後世に伝えていく大切な学習だと考えている。第2次飯田市教育振興基本計画のアクションプログラムの一つに「平和学習・人権教育の推進」を掲げており、地域に残る歴史資料や戦争体験談等に触れる平和学習を推進したいと考えている。

日本共産党

後藤 莊一 議員

Q 福祉や納税の窓口では、市民の困難に向き合った対応ができていないか。

A 納税や生活福祉の相談に来られた方には、個々の実情に応じて、きめ細やかな対応や、関係部署が連携した対応に努めている。窓口に限らず、「全職員コンシェルジュ宣言」により、対応マニュアルも用意して、「笑顔」「素早さ」「まごころ」をモットーとした接遇を心掛けていく。今後も丁寧に対応するよう指示していく。

Q 自治組織をさらに発展させるため、まちづくり専任の職員を自治振興センターに配置してはどうか。

A 各地区に専任職員を更に配置することは、課題が多く財政面からも難しい。しかし、まちづくり委員会等の事業を継続的に行うために、アドバイス機能の必要性は認識しており、その仕組みづくりを引き続き検討していく。また、地域おこし協力隊や集落支援員などの制度も活用していく。地域自治を尊重しながらも、行政がしっかりと支えていかなければならないと考えている。

一般質問

一般質問とは、市政全般にわたり市長をはじめ執行機関側に、事業の執行状況や将来的な方針などを質問し、説明を求めるものです。第4回定例会での一般質問の概要を紹介いたします。(質問順)

生活困窮者自立支援制度に関し、関係部署の連携は

福澤 克憲 議員 (市民パワー)

Q 生活困窮者自立支援制度「学習支援事業」について、対象を困窮者以外の支援が必要な子どもにも広げよう、関係部署の連携はできないか。

A 現在、ひとり親家庭の子どもの学習支援については、市独自に支援団体へ補助を行っている。生活困窮者に限らず、様々な課題を抱えた学習支援の必要な子どもに対し、希望者が集まれる場所を作るなどとは大切な視点だと考える。今後、関係部署が連携して取り組む中で、様々な面から検討し、有効な課題解決を探っていく。

AVIAMA(人形劇の友・友好都市国際協会)総会に向けた取り組みは

岡田 倫英 議員 (会派のぞみ)

Q AVIAMA総会を機に、飯田市が『アジアのハブ都市』を担っていく考えは。

A 現在、アジアでのAVIAMA加盟都市で開催される総会を契機に、ヨーロッパ以外の加盟都市を拡大するべく、台湾、韓国、中国、また国内の都市に対して、まずはオプザーバーとして参加をしてみようという呼び掛けしている。飯田市がアジアにおける人形劇の発展に向けて果たすべき役割は大きいと考えている。

太陽光パネルの使用済み対策について

飯田市の個人番号の扱いは

古川 仁 議員 (日本共産党)

Q 各事業所へ送付する「住民税特別徴収額の決定通知書」に個人番号を記載することは、個人番号が漏洩する原因になると考えるがどうか。

A 当市では、法令等に則り、「住民税特別徴収額の決定通知書」に個人番号を記載している。現在、当該通知を含めて誤配や情報漏洩の事案は発生していない。今年度は通知の配付を普通郵便で実施したが、漏洩を防ぐため、より安全性が高い手段が必要と考え、今後は、簡易書留によることとしたい。

飯田市の教育について

飯田市内のホールを有する3施設の検討状況は

木下 徳康 議員 (会派のぞみ)

Q 飯田文化会館、飯田市公民館、鼎文化センターの3施設の建替えについて、検討の進め方、そのルールを示すべきと考えるがどうか。

A 3施設については、市民の関心が高く、検討の進め方は重要である。南信州広域連合で考えているコンベンション施設の中には、ホール機能も含まれると認識しており、飯田市のホール施設の在り方と密接に関係してくる。市民の皆さんとも相談しながら良い方向へ進むよう検討していく。

公共施設マネジメントについて

新しい公共交通の研究は

小林 真一 議員 (公明党)

Q 将来を見据え、AIやICTなどを活用した新しい公共交通やバスの自動運転などの研究を始める必要性は。

A 近隣では、伊那市長谷で自動運転の実証実験が予定されており、その取り組みの状況を把握していく。また、ICTの活用としては、飯田下伊那の市町村で構成する南信州地域交通問題協議会において、バスロケーションシステムの導入に向けた研究と検討が行われるところである。今後、新しい交通モビリティ等の技術についての最新情報を得るよう努めていく。

認知症の理解を深める取り組みは

塚平 一成 議員 (会派のぞみ)

Q 認知症理解推進の観点から、次期高齢者福祉計画・介護保険事業計画にどのように反映させて取り組むか。

A 認知症への理解を深める自主的な取り組みが様々あり、こうした取り組みの広がりが、認知症の人にやさしいまちづくりにつながると考える。市としても、国が策定した総合戦略に沿って、現在策定中の第7期介護保険事業計画により進めていく。認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる地域づくりを目指す。

婚活支援体制について

Q 透明性の高い入札の仕組みを導入する考えは

熊谷 泰人 議員 (会派のぞみ)

Q 「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」の目的と基本原則に照らして、現状の入札制度をどう考えるか。

A 当該法律の基本的事項である、透明性の確保、公正な競争の推進、不正行為の排除の徹底、適正な施工の確保を守ることが当然のことである。現在運用している入札制度・契約制度も不断の見直しを行い、また現在策定を進めている公契約の基本方針の中で、地元業者の育成も含めて適正となるよう検討していく。

大型複合アリーナの建設について

市民の防災意識向上のための啓発活動は

山崎 昌伸 議員 (会派のぞみ)

Q 市民意識調査によれば、ここ数年、市民の防災意識の向上が見られないが、精緻な実態把握をしようというので、インパクトの強い啓発活動が必要ではないか。

A 市民の防災意識を高める啓発活動として、日常のなかで誰もが当たり前にできる防災活動を地域に広めることに主眼をおいた取り組みを継続して展開していく。実態把握のための調査については、これまでも市民意識調査で実施してきたものが統計的にも有意と思われるため、基本的には今の内容を踏襲していく。

農業振興センターの役割と今後の取り組みは

清水 優一郎 議員 (会派のぞみ)

Q 農業振興の核となるのが農業振興センターと考える。農業振興センターの役割と今後の取り組みは。

A 農業振興センターは、行政や生産者団体、関係機関で組織している。担い手の確保や遊休農地対策などの課題を解決しながら農業振興に取り組むべく、農業者やグループに対して様々な支援を行っている。事業推進の核は、センター内にある企画実践事務局であり、構成団体と議論をしながら、農業振興の目指す方向性を共有し、農業振興と農村の活性化に取り組んでいく。

総務委員会

12月11日に委員会を開催しました。
委員会での審査について紹介します。

議案第105号

職員の育児休業等に関する条例及び飯田市職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

案件の概要

地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い、育児休業等の対象となる子の範囲の拡大や介護休暇の分割、介護時間の新設をする。

介護での年次休暇取得も可能か

Q 改正後に介護時間の取得ではなく、年次休暇を取得して介護することは可能か。

A 介護のために年次休暇を取得することは可能だが、年次休暇は限りがあるため、介護のために部分的に休暇が必要な場合は、介護時間を取得してもらう方が趣旨に沿ったものになる。

議案第117号

平成29年度 飯田市一般会計補正予算(第6号)案

中央公園のトイレの修繕は

Q 中央公園のトイレは何年に建築されたものか、通路の亀裂はこの修繕で改善されるのか。

A トイレは昭和51年に建築され、41年が経過している。今回の修繕の場所はトイレと公園をつなぐ「橋」の部分であり、通路の安全を確実にしておく。



川路メガソーラーいいだ 展望台

メガソーラーいいだの展望台の耐用年数は

Q 川路のメガソーラーいいだにある展望台は耐用年数がきているのか。ウッドデッキは腐食防止加工を考えているか。

A この展望台の耐用年数は確認していないが、山本地籍にあった三遠南信自動車道飯橋道路の木造の工事見学櫓を、当地の展望台として移設してあったものを活用している。

築後17年が経過し、デッキの保護塗装も劣化していることから、床板の修繕に合わせ、床全面に腐食防止塗装をする。



インターネット中継を【YouTube】に変更 ～第4回定例会から～

飯田市議会のWEBサイトから【YouTube】ページの動画を再生することができます。
(<http://www.city.iida.lg.jp/site/assembly/>)



① 飯田市議会のWEBサイトで本会議か委員会のボタンを選択



② 見たい動画を選択



3 動画再生

社会文教委員会

12月12日に委員会を開催しました。
委員会での審査について紹介します。



議案第106号

飯田市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例の制定について

案件の概要

子ども福祉医療費について、長野県が中学生までの現物給付化を県下一斉導入することを受け、現在の自動償還方式のうち、出生の日から満18歳に達する日以降の最初の3月31日の間にある者について現物給付方式とする。

下伊那の町村の状況は

Q 県の方針で各市町村が中学生までを現物給付の対象としている。飯田市は高校生年齢を対象とすることだが、下伊那の町村の状況はどうか。

A 下伊那では、子ども福祉医療費の対象を18歳までとしている町村が13町村中10町村ある。そのうち、今回、高校生までを現物給付化とした町村は、9町村である。

議案第113号

公の施設の指定管理者の指定について（飯田市デイサービスセンター）

案件の概要

飯田市上村デイサービスセンターの指定管理者として、特定非営利活動法人わたの家を指定する。

介護従事者は足りているか

Q 利用者が増えてきているとのことだが、介護に従事する人材は足りているか。

A 利用者は、指定管理制度へ移行する前の35倍と大幅に増えた。利用者数の増加に伴い、以前よりも従事者の数も増えた。介護人材の確保には指定管理者が配慮しており、従事者については充足されている。

議案第123号

工事請負契約の締結について（特別養護老人ホーム飯田荘建設事業建築工事）

議案第124号

工事請負契約の締結について（特別養護老人ホーム飯田荘建設事業機械設備工事）

■議案第123号と第124号の議案は、「特別養護老人ホーム飯田荘建設事業」に関わるので、一括議題として審査しました。

入札と工期の状況は

Q それぞれの工事の一般競争入札に参加した事業者数は。

A 建築工事については、13社、機械設備工事については7社の入札があった。

Q 予定価格の何パーセントで落札したのか。

A 建築工事の落札率は、99.56%、機械設備工事の落札率は99.55%だった。

Q 工期が厳しくなっていないか、建設業者に無理がない状況であるか。

A 工期においては、工事の特性において適切な期間を設定していると考えている。

請願・陳情審査の結果

請願第6号

★請願の趣旨

国及び県に対して、介護の人材確保・離職防止を求める意見書を提出願いたい。

★請願者 飯田市民連労働組合

執行委員長 伊壺 一輝 氏

■慎重な審査の結果「不採択」としました。

★委員会での主な意見

○介護の人材確保と離職防止の抜本的な解決のために介護報酬を上げることが一つの手段であり、趣旨適当で賛成、採択。

○介護報酬の引き上げは、抜本的な解決にはつながらない。介護職員の処遇改善を求めるべきであるので不採択。

○請願としては不採択だが、介護の人材確保・離職防止のために、3月までに介護職員処遇改善加算の改善を図ることを求める要望書について委員会が検討し、提出してはどうか。

請願第7号

★請願の趣旨

国に対して、給付型奨学金制度の拡充を求める意見書を提出願いたい。

★請願者 日本民主青年同盟

飯伊地域班 代表 北原 佑哉 氏

■慎重な審査の結果「趣旨採択」としました。

★委員会での主な意見

○国の給付型奨学金制度は間口が狭く、多くの学生が使える状況ではない。多くの経済的に就学が困難な学生が使えるようなものにして欲しい。趣旨適当で採択。

○国も給付するために、しっかりとした制度設計が必要。趣旨は適当だが、ここで、財源の問題を抜きには賛成はできないので、趣旨採択。

請願第8号

★請願の趣旨

市に対して、給付型奨学金制度の創設を求める。

★請願者 日本民主青年同盟

飯伊地域班 代表 北原 佑哉 氏

■慎重な審査の結果「不採択」としました。

★委員会での主な意見

○高い学費に直面して困難をきたしている学生も多い。給付型の奨学金制度を市独自で創設という趣旨に賛同、採択。

○請願には、「経済的に困難な世帯を含め、より多くの学生が利用できる給付型奨学金制度の創設」とある。国よりも広い範囲を対象とした給付型奨学金制度の創設を市に求めるのは難しいことである。方向性として、給付型奨学金制度を検討する必要性は理解するが、この請願に関しては、不採択。

陳情第211号

★陳情の趣旨

市に対し、鼎小学校プールの外壁の基礎部分を補修するとともに、外壁上部にある金網フェンスに換えて目隠しフェンスを設置願いたい。

★陳情者 木下 進 氏

■慎重な審査の結果「趣旨採択」としました。

○内容的には、子供の安心・安全を守るのは当然のことである。しかし、補修要望については教育委員会でも学校を訪問し、検討のうえ優先順位をつけて対応しているのが現状であり、趣旨採択。

陳情第3号

★陳情の趣旨 国に対し、受動喫煙防止対策を進めるために、健康増進法の改正を求める意見書を提出願いたい。

★陳情者 一般社団法人日本禁煙友愛会

龍峽支部長 林 宗吉 氏

■慎重な審査の結果「採択」としました。

○国に対して、給付型奨学金制度の拡充を求める意見書を提出願いたい。

産業建設委員会

12月13日に委員会を開催しました。
委員会での審査について紹介します。

議案第110号

飯田市土地利用調整条例の一部を改正する条例の制定について

案件の概要

太陽光発電施設の建設等に関し、一定基準を超えるものを「特定開発事業」等に位置付け、土地の安全上必要な措置を規定する。

条例をいつから適用し、どのように広報するのか

Q 現在、太陽光発電施設建設を予定している事業者がいると聞か、この条例等の改正による適用はどうか。
A 今回の改正の施行日は、平成30年4月1日を予定している。それ以前の届出は現行の規定が適用されるため、現在、届け出前の事前協議中の事業者に対しては、現行規定により協議を行う一方で、今回の改正内容等は説明し一定の理解をいただいている。

Q 条例改正の議決後は、どのような周知を予定しているか。
A 速やかに市のホームページに掲載し、周知を行う。また、広報いいだにも掲載し周知することを予定している。

改正前の施設が隣地にある場合は

Q 今後、条例等の改正に伴う面積の基準等に該当しない開発行為の実施後、隣地と同様の行為が行われ、合計で基準等を超える場合の扱いは。
A 土地所有者が同一又は、事業者が同一である場合は、一連の行為とみなし、指導の対象となる。
Q 今回の条例等の改正前に設置済みの隣地に面積の基準等に該当しない開発行為が計画され、合計で基準を超える場合の扱いは。
A 条例等改正施行前の行為と一体とみなすことはできないので、指導の対象とはならない。



議案第111号

飯田市屋外広告物条例の一部を改正する条例の制定について

案件の概要

屋外広告物等を設置や管理する者に対し、定期的に点検する義務を規定するもの。

屋外広告物の点検の周期等は

Q この条例の改正により、既存の広告物等は、いつまでに点検を行わなければならないか。
A 条例施行後、3年以内に点検を行っていただくことになる。

点検の周期も3年となるか。

Q 現在、一定規模の広告物については、届け出を義務付けており、その更新は3年ごととなっている。それ以外の広告物についても、3年周期での点検が基本と考えている。しっかりとした周知を行いたい。
A 現在、一定規模の広告物については、届け出を義務付けており、その更新は3年ごととなっている。それ以外の広告物についても、3年周期での点検が基本と考えている。しっかりとした周知を行いたい。

議案第114号

損害賠償の額を定めることについて

案件の概要

施設管理(水道事業)の瑕疵による物的損害に係る賠償額を定めたいとするもの。

同様のものは、ほかにあるか

Q コンクリート製の柵に設置した鋼板製の蓋を跳ね上げたとのことだが、同様の構造のものは、ほかにもあるか。
A 現地は大平宿からさらに1キロほど奥に入った林道であり、事故後は蓋を固定した。その他の道路上等では、事故の危険性が少ない構造としてある。

議案第117号

平成29年度 飯田市一般会計補正予算(第6号)案

新人形とけい塔の設置に課題はないか

Q 新人形とけい塔は、中央広場と市民プール跡地間の中央分離帯に設置を予定しているが、現地は橋の上となるため、設置困難と判断された経過もあると聞く。この場所への設置にあたり、強度的な課題はないか。
A 新人形とけい塔の重量は10トン程度と見込んでいる。中央分離帯には現在でも45トン程度の土があるが、設置にあたっては、この土を取り除いて、周辺整備等の必要な工事を行っても、現在の荷重を下回ると見込まれており、課題はない。

陳情の審査結果

陳情第212号

木下 進氏

★陳情者
■慎重な審査の結果「不採択」としました。
★請願の趣旨

市に対し、鼎小学校プールの西側に面した道路について、自動車の待避所を設置願いたい。また、この道は児童の通学路でもあり、安全を考慮して緑色に識別した歩行者レーンを設置願いたい。

★委員会での主な意見

○請願陳情は、行政における制度や仕組みについて、議会が判断するのが本来と考える。今回は個別の道路整備を要望する陳情であり、地域のまちづくり組織や、地域の主体性に関わる個別案件について、議会として何らかの判断をするのは、制度になじまない面がある。趣旨採択も考えたが、これらを踏まえ現状では不採択。陳情者には地域組織等と一層の協議の上、行政、関係者との調整を進め、解決へつなげるよう希望する。



新人形とけい塔 (提案イメージ)

議員紹介

議員の人となりなどを議員自らが紹介します。(議席順に掲載)



～驚き、感謝、負けない！～

小林 真一

私には今、1歳と数か月になる娘がおります。娘は私が家に帰ると、いつも満面の笑顔と大きな声で迎えてくれ、ホッと心が和みます、そんな姿に完全にのろけています。

「子どもの成長は早いぞ～」と、いろんな方に言われてはいましたが、いざ自分が親になってみると、1日、1日の目を見張る成長っぷりに本当に驚かされます。最近では「オカチャ(お母さん)」、「オトチャ(お父さん)」や「イターキマウ(いただきます)」など言葉にならない言葉を喋ったり、物凄いスピードでハイハイしていったと思ったら、フラフラ～と立って2、3歩、歩きます。

「子どもの成長は早い」今、身をもってその通りだと実感しています。「親になって親の気持ちがわかる」と言われている通り、改めて育ててもらった両親に感謝の気持ちを伝えようと思います。

そして、私も父親また議員としても1歳ですが娘とともに、また娘の成長の早さに負けないように日々成長していきます。



～寒稽古～

福澤 克憲

剣道をやっている、昔みんなによく言われた言葉「夏は暑くて、冬寒い」。季節的にも当たり前のことですが、私は特に冬になると高校時代の「寒稽古」を思い出します。

寒稽古は、まだ朝日も出ていない真っ暗な道場にみんなが集まってきます。前日に竹で干しておいた剣道着をとると、カチンカチンに凍っています。その剣道着をもみほぐしながら袖を通します。暗い道場に「寒っみー！」の音が響き、誰が到着したかが分かります(笑)。

「はじめ！」の声で稽古が始まります。まだ薄暗く相手が良く見えません(笑)。冷え切った床に素足、足の感覚がマヒし慣れてくると朝日が昇り、道場の隅まで見えるようになります。稽古が終わり、面を外すとみんなの笑顔が溢れ、全身から湯気が立ち上がっています。寒くて辛かった寒稽古、仲間が集まった時、口をそろえて言う言葉「あれに耐えたんだから大丈夫」。冬の時期、仲間の顔を思い浮かべ元気をもらっています。



昭和62年8月5日、友好都市提携の盟約書にサインする松澤市長とロジェ・マズー市長 [飯田市歴史研究所提供]

人形劇が縁で友好都市となり30周年。同市には、飯田通り(Shinobu Street)が誕生し、答礼について複数の議員が質問するなど、議会も注視していました。この度、龍江の天龍峡桜街道がシャルルヴィル・メジエール通りと命名されます。

シャルルヴィル・メジエール市との友好提携30周年/答礼を決定

◇前向きな質問、答弁だった。ただ、突っ込んだ再質問が少ない。本会議、委員会とも自由に傍聴いただけます。ぜひお越しください。



平成29年第4回定例会を傍聴された方のご意見を紹介します。

◇若い議員の働き方についての質問は新鮮。今後、頑張ってください。

議会中継をしています

本会議の様子は飯田ケーブルテレビデジタル714chで中継しているほか、一般質問の様子はインターネットによるオンライン動画配信サービスで中継しています。ぜひご覧ください。 <http://www.city.iida.lg.jp/> を開いて

飯田市議会

検索

編集後記

昨年は飯田市制施行80周年を迎え、飯田市として節目の年でした。今年は飯田を代表するイベントのひとつ、いいた人形劇フェスタ20周年、人形劇カーニバルから40周年という節目の年。またAVIAMA総会が飯田市(アジア地域)で初開催と記念すべき年です。

長い歴史の中で、先人たちが築き上げてきたものを守り続けていくということは大変でもありますが、とても素晴らしいことです。長い歴史ある飯田市議会も、より良い飯田市を目指し、皆様からのご意見を真摯に受け止め、市政に反映して参ります。

議会の動き(予定)

- 議会への請願・陳情の締め切りは平成30年2月21日(水)午後5時です。議会事務局へご提出ください。
- 第1回(3月)定例会は2月27日(火)開会です。

広報広聴委員会

- | | | | |
|-----|--------|-------|-------|
| 委員長 | 新井 信一郎 | 副委員長 | 古川 仁 |
| 委員 | 岡田 倫英 | 塚平 一成 | 小林 真一 |
| | 熊谷 泰人 | 木下 容子 | 原 和世 |